

小津ウォーキングマップ

自然と歴史を訪ねて



小津ヒストリー

約2000年前の弥生時代、小津には既に多くの人々が稲作を中心に暮らしていました。今の流れになる前の野洲川は、小津の辺り(現在の境川付近)を流れていたと考えられており、豊かな湧水と肥沃な土地に恵まれ、人々は川に沿って安全な高い台地に住んでいました。

550年くらい前の中世室町時代には、蓮如上人の教えによる真宗が広まりました。さらに時代は戦国、寺院を核として道路や家屋を計画的に配置し、土塁や水路を巡らした自治都市(寺内町)が形成されてゆき、金森御坊を中心に200軒をこえる街が整備されました。

その後、信長の宗教弾圧に蜂起した門徒衆が金森や三宅で二度にわたり戦いました。門徒衆を鎮圧した信長ですが、陸上、湖上交通の要衝でもあった小津に注目し、楽市楽座の朱印状を出して既存の独占販売権などを排除、自由取引市場を作り小津の経済を活性化させました。

ウォーキングコース上の寺院 <本堂等の拝観(要予約)のお問い合わせは下記の☎まで(市外局番077)>

5. 善立寺(ぜんりゅうじ)



蓮如の高弟道西によって開かれて以来、本願寺門徒にとって重要な役割を果たしてきた寺院である。蓮如は道西に正信偈大意と御文を書き与えている。信長が楽市楽座令をしたためた朱印状が残されている。

☎582-2086

6. 因宗寺(いんしゅうじ)



蓮如の高弟道西の頃に開かれた真宗寺院である。善立寺と共に金森御坊を崇敬護持している。蓮如上人御筆の六字名号や方便法身尊像が下付されている。

☎582-3282

7. 蓮生寺(れんしょうじ)



奈良時代初期に開かれたと伝えられている。中世、西は蓮如に帰依し改宗、三宅道場が開かれ当地域の真宗の重要拠点となった。本堂は元和元年(1615)に再建、真宗寺院最古の本堂である。

☎582-2465

9. 薬師堂(やくしどう)



薬師堂の仏頭は明治42年に国重要文化財に指定された。

当時、仏頭のみだったので大正年間村人が薬師如来として体部分を復元した。その際、仁王門と薬師堂も再建された。

☎582-2465(蓮生寺)

8. 照養寺(しょうようじ)



源義光十六代青木下野守祐清が応仁2年(1468)天台宗として建立、後に教如に従い真宗に改宗と伝わっている。

本堂裏にはオハツキイチョウの巨木があり樹齢300年とも言われている。

☎582-2473

12. 覚明寺(かくめいじ)



聖徳太子の建立と伝えられ、その後、宇野氏と言う武士が大林城主となり累代覚明寺の大檀那を務めた。

1570年、大林城は信長軍と戦うも覚明寺は焼失、現在の本堂は明治初期に再建された。

☎582-3516

18. 浄光寺(じょうこうじ)



浄光寺は前身として欲賀寺があり、山城国の現城陽市から坂田郡を経て1377年欲賀へ移り住んだ寺田備前守清信第三子清道の開基と伝えられる。また、西隣の水度天神宮との繋がりも深い。

☎585-2090

15. 浄念寺(じょうねんじ)



永正6年(1509)了正により開基。現在の本堂は安永9年(1780)に建立された。木仏は寛文11年(1671)良如宗主の御許可を受ける。

梵鐘は3代目で昭和22年鑄造。

☎585-0073

マップ掲載施設のお問い合わせは

(市外局番 ☎ 077)

小津公民館 ☎585-3366

ほたるの森資料館 ☎583-9680

北川家住宅土蔵 ☎582-2761

屋形船乗船 ☎582-1266

(守山市観光物産協会)

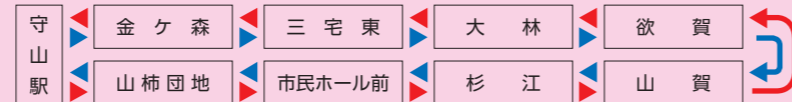
守山駅から小津への交通アクセス

★少人数なら守山市観光レンタサイクルが便利です(無料)

場所: 守山市駅前総合案内所(☎077-514-3765) 台数: 5台

★近江バス(杉江循環)(近江鉄道 ☎0749-22-3306)

▶: 往路(午前) ▶: 復路(午後)



4. 金森御坊(かねがもりごぼう)



川那辺矩厚(道西)と道西の父休西が開いた惣道場が始まりとされている。寛正6年(1465)比叡山僧兵に追われた蓮如は金森の道西のもとに身を寄せて布教活動を行った。毎年3月には蓮如の遺徳を偲ぶ苦菜会が営まれている。

また、境内には懸所宝塔と呼ばれる国指定重要文化財がある。

☎582-2086(善立寺)

☎582-3282(因宗寺)

金森湧水公園



金森の豊かな湧水は、その下流の多くの地域を潤し、ゲンジボタルが乱舞していた。

湧水復活再生事業として2000年に完成し、氷河期から生き延びてきたと言う絶滅危惧種の淡水魚ハリヨが棲み、同じく水温が約15度の清流に適し梅の花に似ているバイカモが生育している。

32. 小津神社(おつじんじや)



広大な原生林のような森を備えた古社である。三間流し造りの本殿は国指定重要文化財で、社伝によると大永6年(1526)に再建されたもので、素朴さと華やかさを併せ持つ室町時代の建築様式を示している。

毎年5月、約1450年前、大洪水で本殿流出再建を機に始まったと伝えられる長刀祭を奉納。

☎585-0855

もりやま芦刈園



琵琶湖湖岸の入り江(小津袋)に面した所に、日本あじさいと西洋あじさい各約50品種、5000株ずつ計10000株が植栽され、様々な花弁に白や青、ピンクなど多くの種類が楽しめ、毎年6月中旬頃、見頃を迎える。

指定管理者:

守山市シルバー人材センター

☎583-2727

☎585-7133(直通)

16. 明楽寺(みょうらくじ)



もともと浄念寺開基の了正が開いたもので北岸道場と称されていた。永正7年(1510)に木仏本尊が許可され、寺号が明楽寺となった。

無住だったが昭和27年、前住職教誠が継職し現在に至る。

☎585-1515

30. 正光寺(しょうこうじ)



明応6年(1497)勝島次郎俊之が中心となり山家の郷杉江村西道場として創建された。延宝4年(1676)寺号を正光寺とする。鐘堂は室戸台風で倒壊し再建、本堂は取り壊して平成11年に再建された。

☎585-7576

小津の城跡



今から五百年あまり前、小津には寺や館を中心に土塁や水路を巡らした城郭が五ヶ所築かれた。金ヶ森城や、その出城としての蓮生寺を中心とした三宅城では、二度にわたり信長軍と戦った。

(写真は三宅城跡、蓮生寺周辺の土塁)

小津袋



杉江町地先の湖周道路のほぼ内側に大きく広がる内湖は小津袋と呼ばれている。

小津袋はかつて湖上交通の要衝であり、汽船の発着する野洲浦港が築かれ昭和前期には物資や人を輸送する等、賑わいを見せていた。

29. 明然寺(みょうねんじ)



前身は阿弥陀寺で元慶年中(877~885)天台寺院として開基。長禄4年(1460)法西により建立、明然寺と改める。

寛永6年(1629)了意が真宗に改宗。

☎585-0515

馬街道



金森で志那街道から分かれて琵琶湖に向かって真っすぐ伸びる幅約2mの道路が、後の野洲浦港付近まで整備された。

中〜近世、年貢米などの物資を運ぶ牛馬が激しく往来し馬街道と呼ばれた。

27. 慶先寺(きょうせんじ)



大同年間(806~810)に最澄が創建され天台宗を伝える。

正平10年(1355)真宗に改宗、山家念仏道場と名付けた。その後蓮如に深く帰依し、直筆の十字名号や親鸞蓮如連座御影などが下付されている。

☎585-0336

1. 庭塚古墳



金森山柿団地西側に小さな森があり庭塚古墳と呼ばれている。古墳の形は前方後円墳と考えられ、幅約10mの周濠が巡っており、昭和49年の水路改修工事で埴輪が出土している。

埴輪片より5世紀中頃のものと考えられている。